

第5回アジア3R推進市民フォーラム (NGOフォーラム)報告



アジア3R推進市民ネットワーク

崎田 裕子 (NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長)

アジア3R推進市民フォーラムとは

第1回アジア3R推進市民フォーラム in 東京 2009

3Rに関する実践や普及に関し、全国規模のネットワークをもつ日本の約20のNGOが呼びかけ合い、東京で「アジア3R推進市民フォーラム」を開催。日本のNGOだけでなく、中国とインドネシア、韓国のNGOが出席し、3Rに関する課題と、取り組みを共有し、意見交換を実施。このフォーラムは日本の環境省やUNCRDが呼びかけて組織された政府間会合、**the First Regional 3R Forum in Asia** のサイドイベントとして開催された。

代表：藤井絢子(菜の花ネットワーク代表)

事務局：NPO法人持続可能な社会を作る元気ネット

:Foe Japan

:富士山クラブ

:中部リサイクル
運動市民の会



Japan



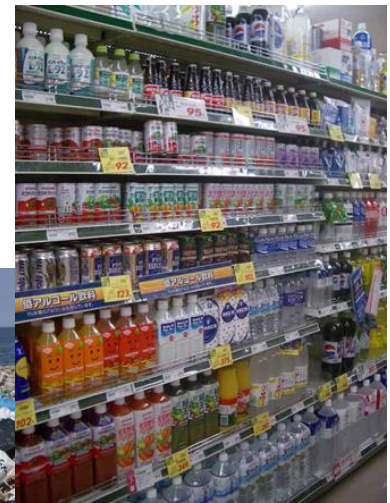
China



Pusdakota from Indonesia

アジア3R市民ネットワーク設立(2010年)

- アジアのNGOとのパートナーシップの重要性を実感。
2010年に「アジア3R推進市民ネットワーク」を正式に設立。
- アジアにおける持続可能な循環型社会を構築するためには、環境にも社会的にも公正な政策が、3Rの優先順位と、拡大生産者責任に基づいて実施され、市民、政府、企業がそれぞれの役割を果たすことが必要。
- 私たちの暮らしや地域での3R実践と経験を共有し、国や地方公共団体や企業と連携しながら、日本とアジアの市民が共に持続可能な社会を目指す。



Community Learn THM from Takakura

●第2回アジア3R推進市民フォーラム In クアラルンプール

- ・ 日本のNGO5団体 とマレーシアNGO11団体
- ・ アジアにおける3Rの協力可能性や方法についてディスカッションを実施



●第3回アジア3R推進市民フォーラム In シンガポール

- ・ 日本とシンガポールそれぞれ6団体が参加
- ・ 議論は、日本の政府や市民は東日本大震災後の深刻な環境問題にどう対処したかなど、多岐にわたった



●第4回アジア3R推進市民フォーラムInハノイ(ベトナム) 2012



Live & Learn, Vietnam (ベトナム NGO)をカウンターパートに、Partnership and Cooperation toward Zero Waste Societyをテーマに意見交換を実施



3R循環型社会づくりNGOの活動内容と連携の意義

リデュース・リユース

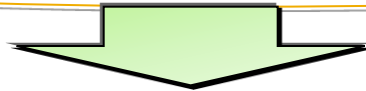
分別・リサイクル(容器・紙・生ごみ・繊維)

適切な処分場

美化・海洋ごみ

ゼロエミッション・環境農業・
エネルギー自給型の循環型地域づくり

消費選択・環境学習・普及啓発・人材育成・発信
調査研究・企業提案・政策提案



アジア各国の経済発展によるごみ・資源問題顕在化
と地球温暖化対策の重要性

E-wasteなど国を超えた課題

- 草の根同士の実践経験共有
- 政府・自治体・事業者と協働&提案

List of organizations participating in the Asia 3R Citizens Network

- Asia Waste Watch
- NPO Association for Promoting Fiber Recycling
- Chubu Recycle Citizens' Organization
- e-cycle
- East Asia Environmental Information Center
- Environmental Partnership Council (EPC)
- Friends of the Earth Japan (FoE Japan)
- NPO Japan Association of Environment and Society for the 21st Century
- Japanese Empowerment Consortium(JEC)
- Japan Environmental Action Network (JEAN)
- NPO GENKI Net for Creating a Sustainable Society
- NPO "jun-namaken"
- NPO Nanohana Project Network
- Nippon Association of Consumer Specialists (NACS)
- OKAERIYASAI-PROJECT
- The Fujisan Club
- Reusable Eco-foodware Network
- WE21 Japan

第5回アジア3R推進市民フォーラム日本大会

日時 2013年12月6日 13:30～16:30

場所 ウィル愛知 セミナールーム1,2

NGOの連携で広げよう！ コミュニティを活かすバイオマス活用
～堆肥からエネルギーまで～

日本とアジアのNGOが連携し、くらしや地域での3R実践の重要性を共有し、政府や企業とも協働し、持続可能な循環型社会を構築するための知恵と意見の集約を目的に、「第5回アジア3R推進市民フォーラム・日本大会」開催。

今年は「コミュニティを活かすバイオマス活用」をテーマにNGO 10団体から32人が参加、国内およびアジアのNGOとの連携によって深刻なごみ問題にどう取り組むのか、何が重要となるのか、ネットワークとして今後の取り組みなどについて意見交換した。



第5回アジア3R推進市民フォーラムin Surabaya

※政府間会合のサイドイベントとして開催

日時： 2014年2月25日(火)

14:00～18:00

会場： シャングリラホテル内会議室

カウンターパート： Puskota

参加者数： 53名(日本11名・インドネシア42名)

テーマ：

Community-based 3R
implemented and promoted
by NGOs

- Converting Waste Biomass
into resource -

※日本側は、中部リサイクル運動
市民の会を軸に、富士山クラブ、
循環生活研究所が事務局を担当。



ランチミーティングでの情報発信



開会式後のランチ会場の特設スペースで、政府間
会合出席者へ向けたアジア3R市民ネットワークの
PR活動をPUSUDAKODAと協力して実施

日本・インドネシア各国の3Rの現状報告

・アジア3R推進市民ネットワークの崎田裕子(NPO法人持続可能な社会をつくる元気ネット理事長)が、「日本の廃棄物管理政策とNGOの役割」と題するプレゼンテーションを行い、日本の3Rについて発表

・スラバヤ市美化景観局局長のAndhini Kusumawardhani氏が「Best Practices of SURABAYA」と題するプレゼンテーションを行い、インドネシアの3Rについて説明



日本・インドネシアのNGOによる 事例発表

日本のNGOによる事例発表として、NPO法人菜の花プロジェクトネットワーク代表の藤井絢子が「廃食油のリサイクル」と題するプレゼンテーションを実施

インドネシアのNGOによる事例発表として、Pusdakota代表のCahyo Suryanto氏が「テクノソーシャルによるごみ減量」と題するプレゼンテーションを実施。

技術と社会が共生しながら環境改善に取り組み、循環型地域づくりや社会の福祉、発展を目指す重要性が述べられた。



参加者アンケートを実施し、 ライフスタイルや環境意識を簡単に調査し共有



ワークショップ①

「家庭での3R・資源循環とエネルギーを考える」

6グループにわかれ、資源の循環やエネルギーに関する節約の知恵や手法、利活用を出し合い、インドネシアでのこれからの「環境にいい暮らし」をそれぞれ図式化した。

WSはNPO法人循環生活研究所が進行した。



CASEY 遠く?



インドネシアでの暮らしぶりや習慣についても触れることができエネルギーや循環についての認識や意欲、現状などを知ることができた。
 持続可能な都市計画に関する若手研究者や学生も多く、関心が高い。

Penghematan Energi
 - Kemandirian Sustainabilitas
 - The per Bath bb
 - Energi-節約 -電気・水
 - 太陽光利用
 - 風呂桶は使わない
 Gomifan
 他・紙・プラスチック・オーガニック
 Shower
 排水溜め
 乾いた・液体
 好気性ゴミ入れ
 液肥
 石・砂利
 植木鉢
 菜園
 健康的な家
 ソーラーパネル
 水浄化装置
 液肥
 好気性ゴミ入れ

- ソーラーセル → 照明、温水
- コンポスト (落ち葉+台所有機ごみ)
- バイオポリ
- 雨水をトイレの流しに利用
- 台所ごみから液肥 → MOL → スターター
- ブラックウォーターリサイクル (バイオガス)
- グレイウォーター (植物の水やり)
- 雨水を飲料水に (R.O)
- 太陽光で洗濯物干し
- エネルギー & 水節約 (バスタブは使わない)
- 木造をつくる (汚染物質除去) → 緑のオープンスペース
- 換気
- 高床式住居 (土地のリチャージ?)

ワークショップ② 「街での3R・資源循環とエネルギーを考える」

ワークショップ①で考えた暮らしを基盤に、街のインフラや仕組み、各セクターの役割等を図式化した。ワークショップの途中で、グループに対してそれぞれ異なる「追加テーマ」を課題として出し、仮想の街にその課題を盛り込んで関係性を考え、発表した。





まとめ

- フォーラムを受けて意見交換を実施。
- インドネシアのNGOや住民組織からも活発に意見が出された。
- 最後に、NGOフォーラムの内容をまとめて、本会合に発表することを、アジア3R推進市民ネットワークの崎田が提案。了承された。



分科会への参加 地方自治体における廃棄物管理分野の3Rを促進する ための地方政府とNGOの間のパートナーシップ



本会合でのNGOフォーラム報告



アジア太平洋州3R推進フォーラム第5回会合議長報告のなかで、 第5回アジア3R推進市民フォーラムについて言及

77. 第5回アジア3R推進市民フォーラムは、第5回アジア太平洋州3R推進フォーラムのサイドイベントとして開催され、インドネシアと日本の両国における NGOが相互に協力していることを示した。このフォーラムではバイオマスからエネルギーへ、コミュニティベースの3R推進活動や持続可能な廃棄物管理を行うためのソシオテクノロジー(テクノソーシャル)を取り上げ議論した。フォーラムの結論では、社会システムや法制度の策定や政策立案において、政府(国、地方行政)と NGOや市民社会の緊密な連携が重要と述べられた。

77. The Fifth Asia 3R Citizens Forum organized as a side event of the 5th Regional 3R Forum in Asia and the Pacific demonstrated NGO-NGO cooperation between two countries -Indonesia and Japan. The NGO Forum highlighted community-based 3R actions converting waste biomass into resource and socio technology to ensure sustainable waste management. The outcome of this NGO Forum suggests the significance of close partnership between the governments and NGOs/civil society in policymaking as well as for social and legal systems.

77. The Fifth Asia 3R Citizens Forum organized as a side event of the 5th Regional 3R Forum in Asia and the Pacific demonstrated NGO-NGO cooperation between two countries – Indonesia and Japan. The NGO Forum highlighted community-based 3R actions converting waste biomass into resource and socio technology to ensure sustainable waste management. The outcome of this NGO Forum suggests the significance of close partnership between the governments and NGOs/civil society in policymaking as well as for social and legal systems.

Partnership (PPP)s for 3Rs in e-Waste (WEEE) Management

PUSUDAKOTA訪問・視察

- スラバヤ大学と連携し、深刻なスラバヤ市のごみ問題に取り組んでいるプスタコタというNGOの事務所を訪問した。
- プスタコタの施設として、子供たちが絵を描く等のワークを行えるスペースや、小さな図書館、効率よく畑作業を行うための講座を開くための畑、川から水を引いて作ったため池、堆肥をつくるコンポストセンターがある。ここでは、市民から回収した堆肥が乾燥保存していた。匂いはほとんどない、きれいな堆肥だった。



ベトナムNGOとの交流の継続。 政府職員研修へのNGOリーダーの参加と 福岡でのコンポスト人材養成・支援研修の実施

【日時】平成26年3月5・6日

【場所】NPO法人循環生活研究所
(福岡市東区三苫4-4-27)

【目的】第4回アジア3Rフォーラム
に参加したベトナムのNGO
へのサポート支援事業。

【内容】コンポストの指導者養成の
ための専門家向け研修

【研修生】 2名
Miss. Nga Pham (NGO: Live&Learn)
Mr. Son Nguyen (NGO: GreenID)

※フォローアップのため、NPO循環生活
研究所が本年5月にベトナム再訪予定



今後に向けて

- つないできたネットワークを継続発展させ、持続可能なアジア目指したい。
- ・ 国内ネットワークの充実～3Rに関する活動状況の把握と交流
- ・ アジアNGOネットワークの深化～各国のカウンターパートNGOとの連携
づくり・継続と、課題対応策や経験・ビジョンの共有
- ・ アジアNGO間の経験交流と、人材育成（研修受け入れ継続を期待）
- ・ NGO・地方自治体・国・事業者をつなぐ共同事業などの検討・実施

